

1 宇宙はどのように生まれたのか?

この根源的な疑問の答えを求めて、人々は宇宙に思いを巡らしてきました。しかし、宇宙論は科学と呼べるものにはなっておらず、むしろ哲学のようになっていきます。人々は自らの学説のつじつまを合わせるために、暗黒エネルギーや暗黒物質、インフレーションなどの要素を発明し続けていますが、どれも実証的な根拠がまったくありません。何ひとつ無いのです！宇宙背景放射はビッグバン後の宇宙膨張のゆえなのであらゆる方向から来ていると主張されています。しかし太陽系の惑星軌道面が関与しているようです。まったく筋が通っていないではありませんか！

2 どうやって‘無’が爆発したのか?



ビッグバン説によると、初めは何も無かったが、その‘無’が爆発した！とされています。この‘無’とは真空ではなく、物質も、エネルギーも、空間も、時間も、一切何も無いという意味です！スティーヴン・ホーキングは、宇宙に始まりがあったことはもはや疑いの余地はなく、人間が想像可能なものも想像不可能なものも含めたあらゆる方法で始まったと主張しています。そして「我々はなぜここに存在しているのか？」と問いかけ、「宇宙自体がそれを選んだのだ。」という答えを出しました。* すなわち、宇宙自体が自らを造りあげたのだ、意志を持った創造主など存在しないということです。これもまた、筋の通らない不合理な説明です。
*Hawking, S.W. & Hertog, T., Phys. Rev. D 73, 123527 (2006)

3 星や銀河はどのようにできたのか?

ビッグバンによってガス雲が生じ、そのガス雲から星が形成されたと言われていますが、そのような現象を引き起こす物理法則は見つかっていません。すなわち、自然現象で星ができるはずがないのです。* それで、その矛盾を補う架空の物質ダークマター(暗黒物質)が提案され、その憶測に頼っているのです。
*星の爆発でガス雲が圧縮され、星ができると考えられていますが、最初の星がどのようにできたのか説明できません。

4 どうしてすべての岩石の年代が、5万6千年より古いものは測れない放射性炭素年代測定法で測れるのか?

実際、過去40年間に地上で見つかった炭素を包含した岩石は無生物鉱物を含めて全て放射性炭素を含んでいます。どういことでしょうか？それは10万年も存在したものはないということです。進化論では地球の年齢は45億歳と言われてます。そして、石炭は若くても3億歳と想定されていますが、放射性炭素年代測定法で測るとたったの4万5千歳です。ダイヤモンドは炭素だけからできていて、若くても10億歳とされていますが、放射性炭素年代測定法ではたったの5万5千7百歳です。



すなわち、何億年という歴史年代は正しいはずがありません。聖書によれば、それらの岩石の年齢は5千歳に満たないと想定されます。

5 化石の年代はどのように決定されるのか?

進化論では、全世界の地層中に発見された何百万もの化石は30億年以上かけて微生物から人間に進化してきた歴史の中のいずれかの年代に当てはまると言います。しかし、化石の年代はそれ自体で知り得ないので、その化石が見つかった地層の年齢によって決められます。では、地層の年代はどう判定するのでしょうか？その地層中に含まれる化石の種類によって決められているのです。これは循環論法です！放射性ミネラルを用いた(火成岩の)年代測定も検証不可能な憶測に基づかざるを得ません。そのため、同じサンプルを異なる年代測定法で測定するといつも違う結果が出るのです。



6 進化が観測されたことがないのはなぜなのか?

過去に何が起こったかについては実験も観測もできません。リチャード・ドーキンス教授は、「進化は観測されている。ただそれが起こっている最中に観測されなっただけだ。」と言いました。* これはまったく筋の通らない主張です。

*Bill Moyers interviews Richard Dawkins, Now, 3 December 2004, PBS network

7 DNAの複雑に暗号化された特定の情報は偶然にできたのか?

単細胞生物のDNAにある遺伝情報はヒトのそれよりはるかに少ないものです。もし、複雑な生物が単純なものから進化したのなら、遺伝情報が後から加わったということになります。リチャード・ドーキンス教授は、「その一例を挙げていたリチャード・ドーキンス博士だけですか？」という質問に答えることができませんでした。実際そのような例はなく、進化は起こっていないからです。(参照：<http://creation.com/dawkins-stumped>)



情報とは知性と意思から生まれるものであり、偶然にできるものではありません。DNAがコピーされる時にも、情報は失われる一方で、増し加わることは絶対にありません。

進化論科学者たちは、DNAの暗号文の体系も進化によって生まれた、と言います。しかし、どのような暗号(言語で書かれた意味のある文章)も知性ある者の創作によらなければできません。さらに、DNAはこの宇宙の中で最も高密度な情報蓄積システムです！分子はそれ自体で暗号を作り出すことはありません。進化論はこのことを全く説明できないのです。

8 どうやって無生物から生命が偶然に生まれたのか?

最後に、もっと大きな問題です。もちろんこれが可能だとなればの話ですが、いまだかつて、生物でない物質が生物になったのを見た者はいません。そんなことを言えば馬鹿げていると笑われるだけです。

ですから、よく考えてみてほしいのです。多く進化論の話を見聞きますが、それらは迷信であることが分かります。



「神（創造主）の、目に見えない本性、すなわち神（創造主）の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。」（聖書 ローマ 1：20）

「初めに、神（創造主）が天と地を創造した。」
（聖書 創世記 1：1） ～ビッグバンではなく、創造主が。

「神（創造主）は人をご自身のかたちとして創造された。…」
（創世記 1：27） ～全ての人はアダムの子孫。エデンの園のアダムとエバが創造主に反逆した（罪を犯した）ので、創造主は彼らと世界の全てを荒廃させた。

「…一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして死が全人類に広がったのと同様に、—それというのも全人類が罪を犯したからです。」（ローマ 5：12）

「罪から来る報酬は死です。しかし、神（創造主）の下さる賜物は、私たちの主イエス・キリストにある永遠のいのちです。」（ローマ 6：23）

「すべての人は、罪を犯したので、神（創造主）からの栄誉を受けることができません」（ローマ 3：23）、私たちの身代わりにイエスが十字架で罰を受けられたので、ただ創造主のめぐみにより、そのことを信じる者は値なしに義と認められるのです。

「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神（創造主）の子どもとされる特権をお与えになった。この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ神（創造主）によって生まれたのである。」（ヨハネ 1：12、13）

著者について

ジョン・ハートネット博士はオーストラリアの物理学者／宇宙論科学者で、聖書の創造論の世界観を持つクリスチャンです。ウエスタンオーストラリア大学から理学士（優等）と理学博士号（特待）を授与されました。現在、オーストラリアの指導的大学においてオーストラリア学術研究会（ARC）のDORA（Discovery Outstanding Researcher Award）



ジョン・ハートネット

フェローであり教授です。200以上の論文を科学誌や書籍に掲載、また学会で発表してきました。博士の研究はサファイヤ結晶の共振を用いた超高精度マイクロ波発振器と光共振器の開発、そして超高精度発振器を用いた特殊、一般相対性理論など物理理論の基本検証法などです。
公式サイト johnhartnett.org

書籍のご案内



ジョン・ハートネット博士の著書 「光年の謎と新宇宙論」

『若い宇宙でなぜ何億年も彼方の星の光が見えているのか？ 今日、'数千年前、創造主が六日間で世界を創造した'という考えは非科学的以外の何物でもないとされている。しかし、それは、他よりはるかに良く観測事実を説明するではないか。』

アレックス・ウィリアムズ
前国連国際原子力機関コンサルタント
ジョン・ハートネット著 104頁/1,000円（税別）

詳細はこちら  ゴフェルトリーブプロダクション <http://gophertree.jp>

その  進化論は迷信!
その 8 つの理由

ジョン・G・ハートネット
B.Sc.(Hons), Ph.D*